



2019年12月期 第3四半期決算補足資料

株式会社スペース
証券コード：9622

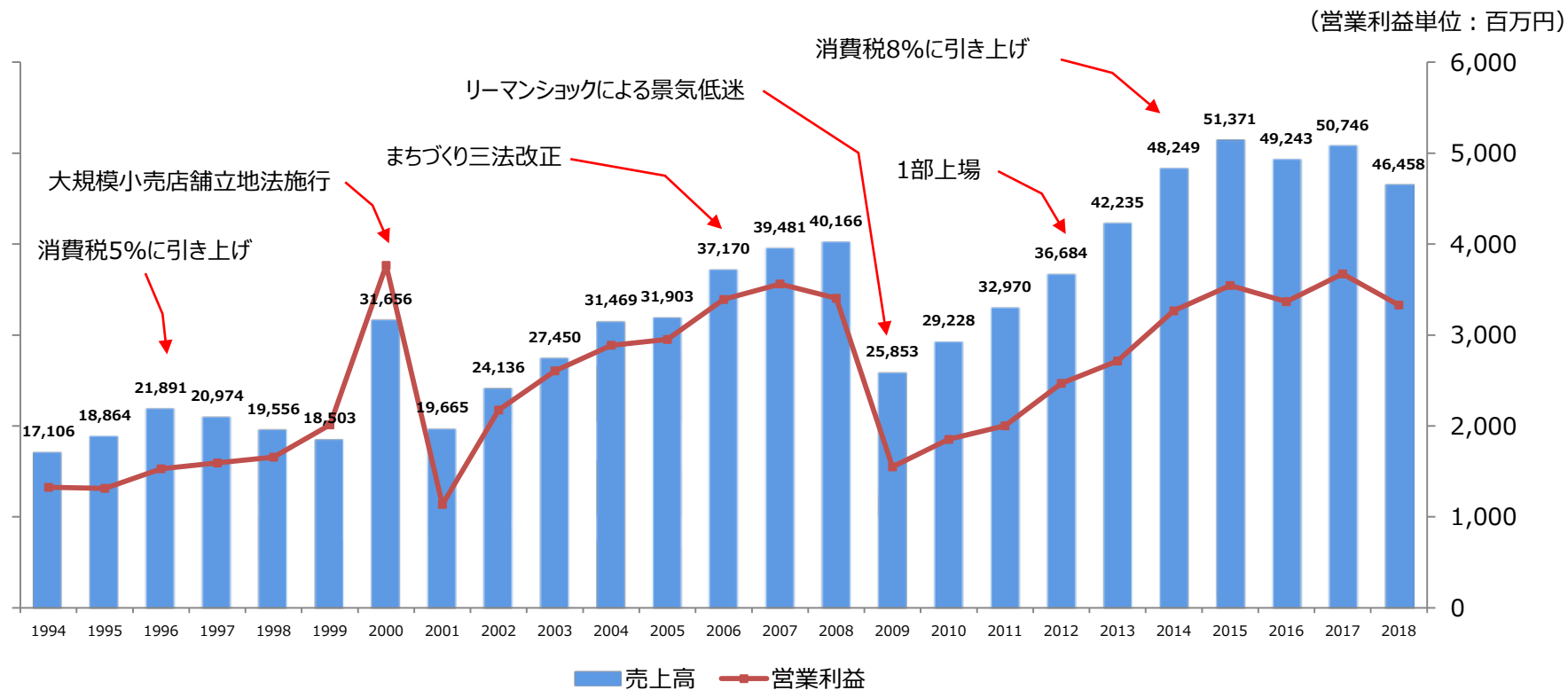
この説明資料には、将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。
社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

1. 事業環境の概要
2. 2019年度 第3四半期決算の詳細
3. 2019年度 通期見通し
4. 新中期経営計画（2020－2022）

1. 事業環境の概要

売上高及び営業利益推移

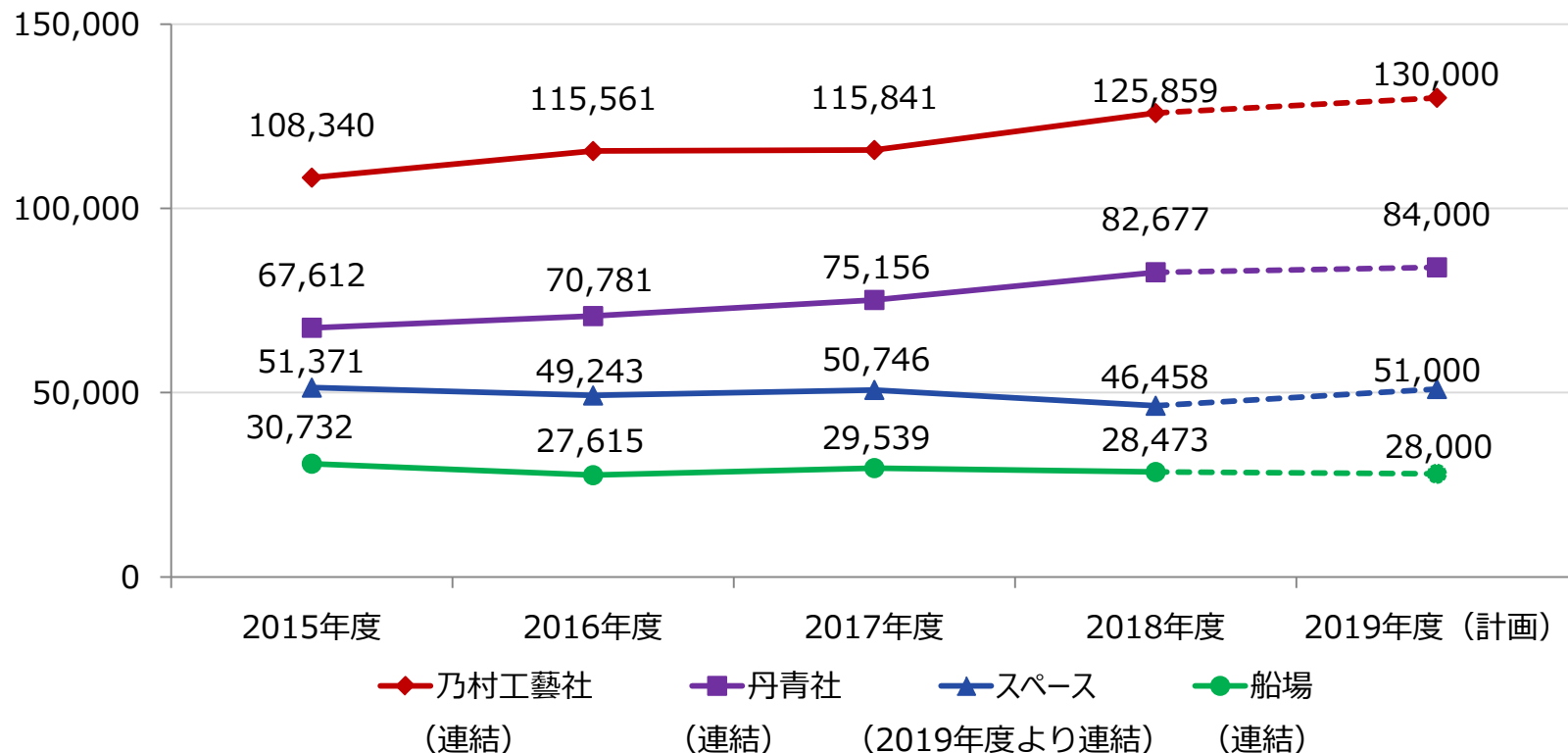
👉 リーマンショック以降は順調に右肩上がりでも推移していたが、近年は社内体制整備に注力



同業他社 売上高推移

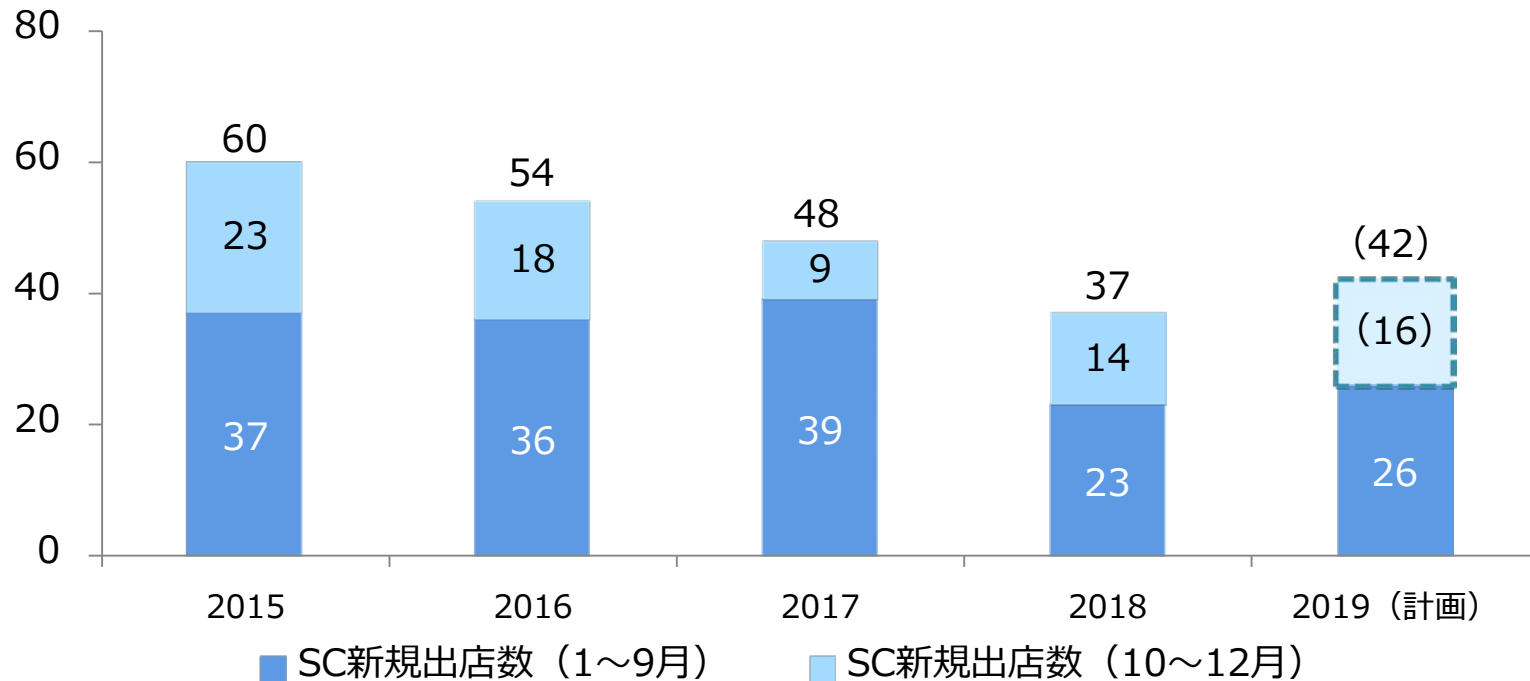
👉 同業他社の売上高は堅調に推移

(単位：百万円)



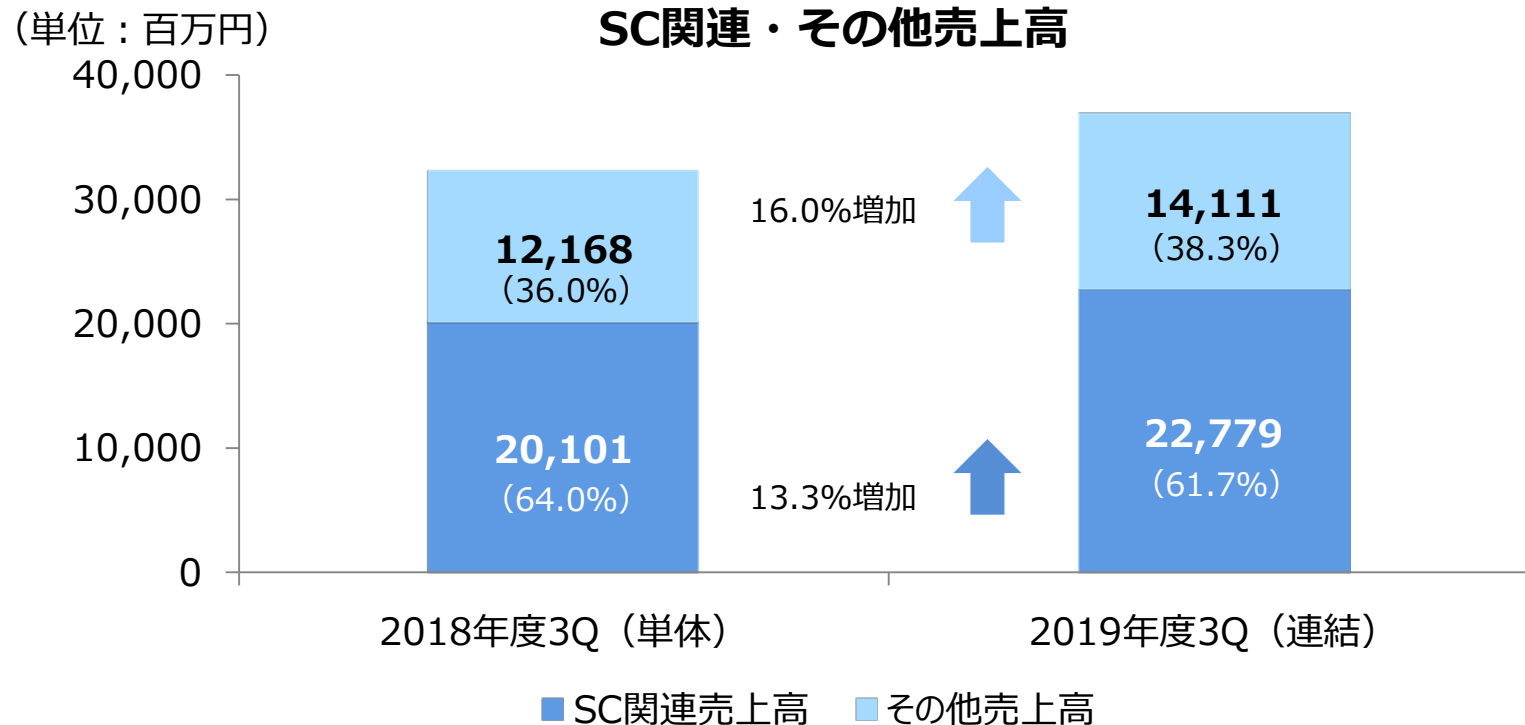
👉 都市部では開発が進むものの、SCの新規出店数は全体的に減少

(単位：件数)



(出典)：一般社団法人日本ショッピングセンター協会 オープンSC情報

☞ SC関連・その他売上高は共に増収となったが、SC関連の構成割合は減少

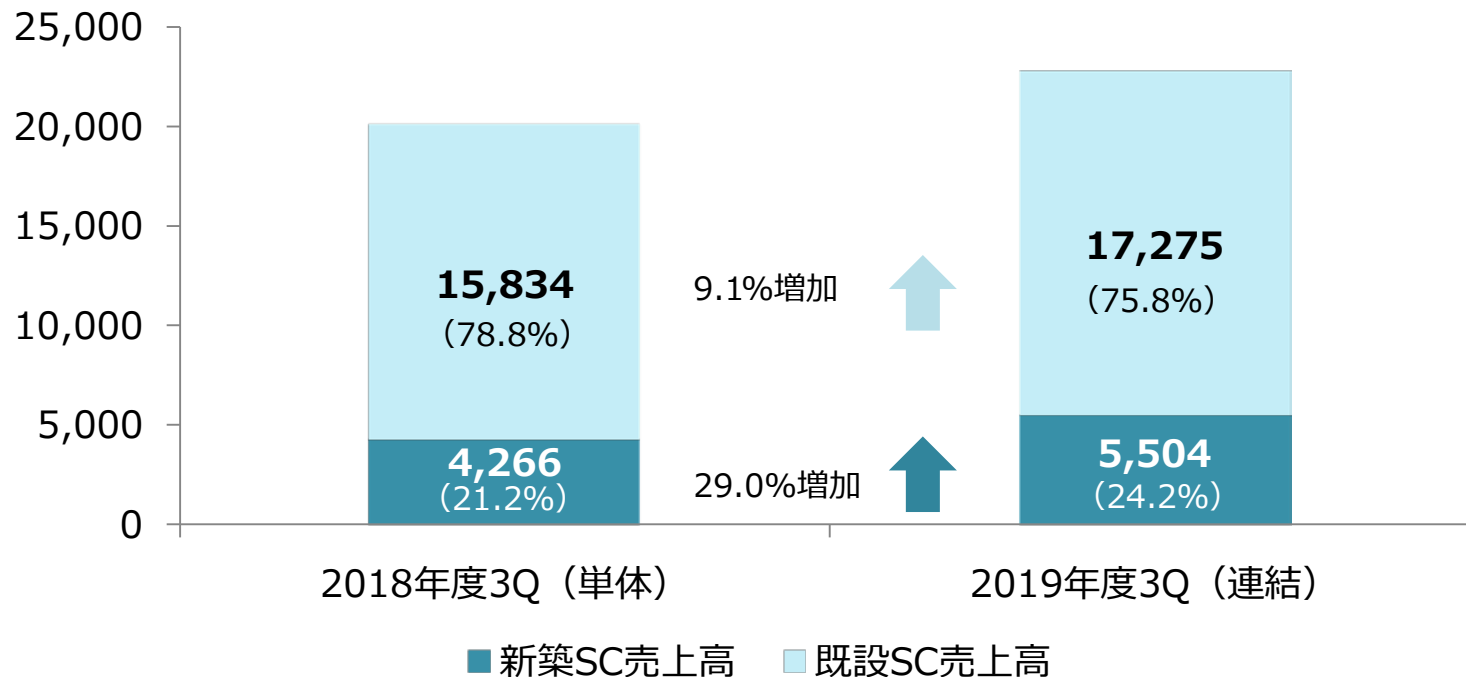


※2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

👉 SC関連売上高のうち、約75%が既設SCに関連する売上

（単位：百万円）

新築SC・既設SC売上高



※2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

2. 2019年度 第3四半期決算の詳細

☞ 前年同期と比較すると増収増益、営業利益率は減少

	2018年度3Q (単体)		2019年度3Q (連結)		前年同期比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	32,270	100.0	36,890	100.0	4,620	14.3
売上総利益	4,097	12.7	4,846	13.1	749	18.3
営業利益	2,378	7.4	2,517	6.8	138	5.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,614	5.0	1,719	4.7	104	6.5
1株あたり当期純利益(円)	66.82	—	71.14	—	4.32	6.5

※単体の実績は当期純利益であります。2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

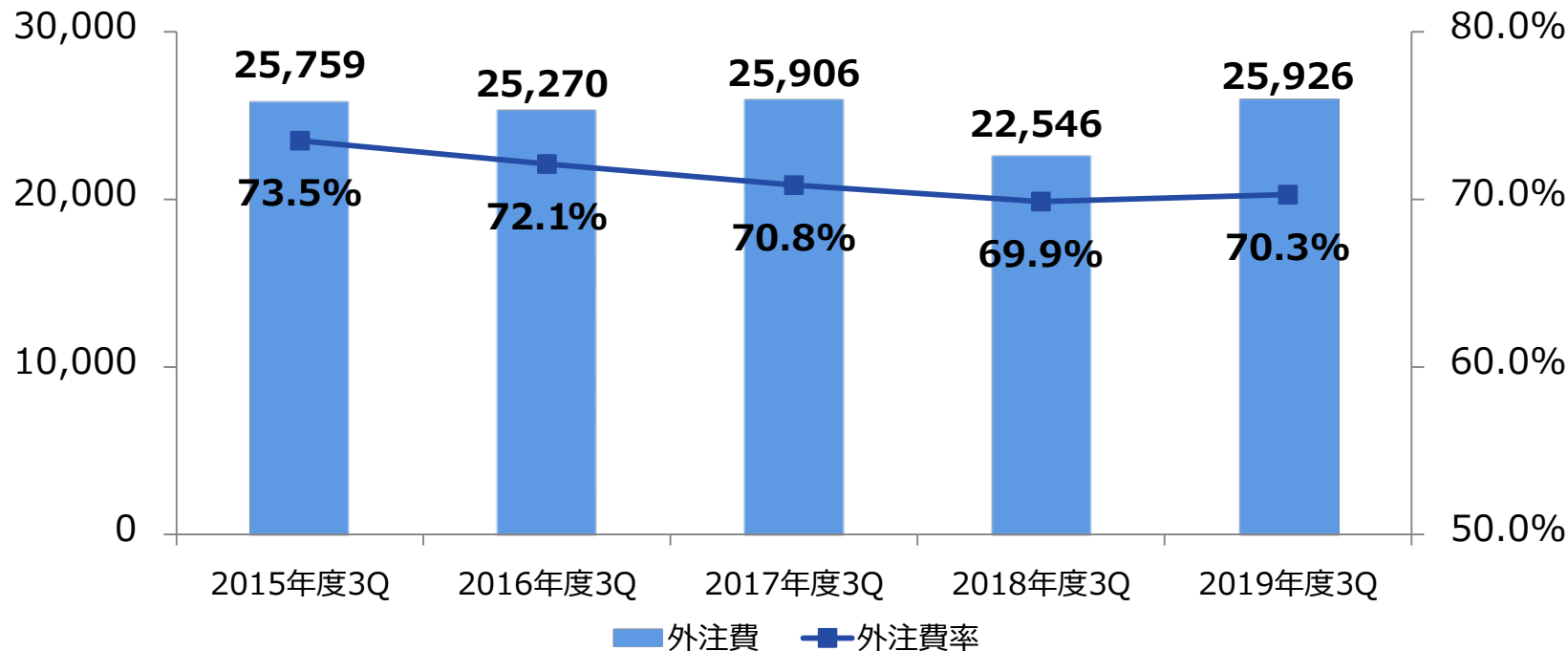
損益計算書

	2018年度3Q (単体)		2019年度3Q (連結)		前年同期比		備考
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
売上高	32,270	100.0	36,890	100.0	4,620	14.3	SCのリニューアル案件が多くあったため増収
売上原価	28,172	87.3	32,044	86.9	3,871	13.7	売上高の増加に伴い増加
売上総利益	4,097	12.7	4,846	13.1	749	18.3	外注費の削減により、増益
販売管理費	1,718	5.3	2,329	6.3	610	35.5	人件費、IT投資、のれん償却費の増加
営業利益	2,378	7.4	2,517	6.8	138	5.8	販管費が増加したものの、売上総利益の増加により増益
営業外損益	△2	△0.0	5	0.0	7	△337.4	主な計上なし
経常利益	2,376	7.4	2,522	6.8	145	6.1	営業利益増加により増益
特別損益	0	0.0	—	—	△0	—	計上なし
法人税等	762	2.4	797	2.2	34	4.6	法人税等は増加
非支配株主に帰属する 四半期純利益	—	—	6	0.0	6	—	連結決算開始のため発生
親会社株主に帰属する 四半期純利益※	1,614	5.0	1,719	4.7	104	6.5	経常利益増加により増益

※単体の実績は当期純利益であります。2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

👉 中期経営計画に従い、外注費率の削減に取り組む

(単位：百万円)



※2019年度1Qより連結決算を開始したため、2015年度3Qから2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

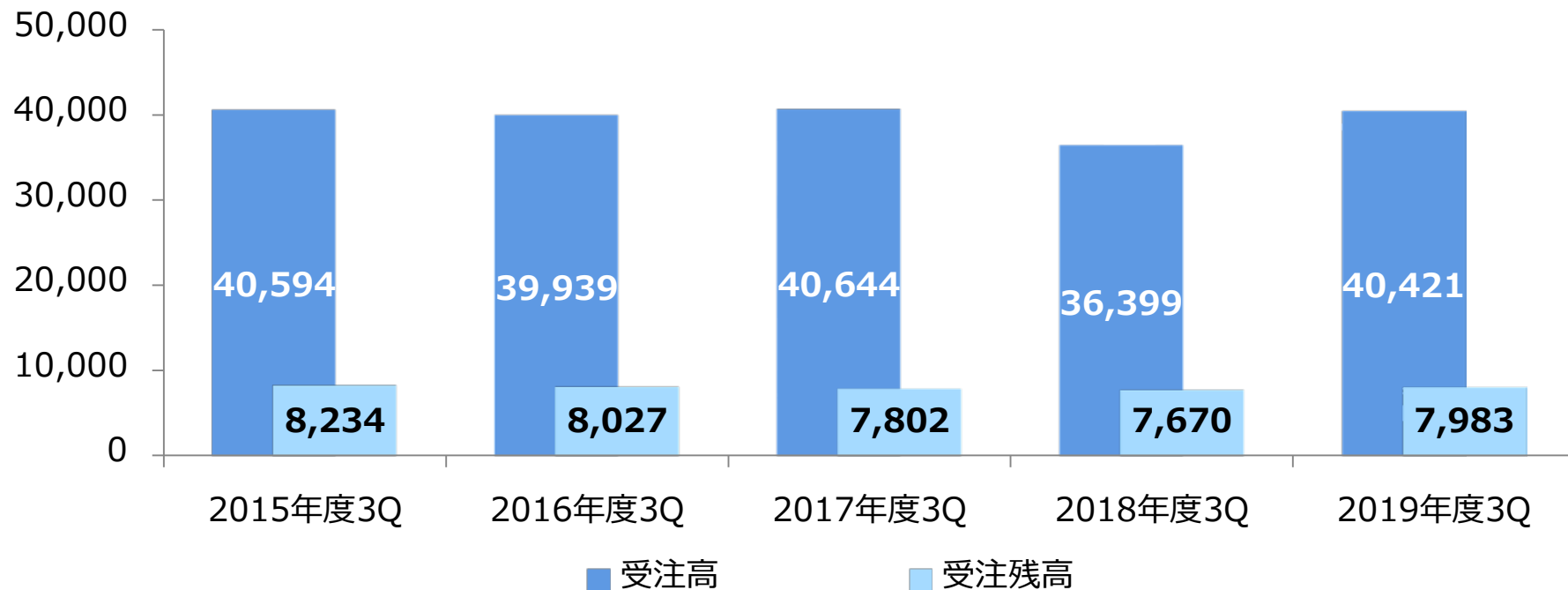
	2018年度3Q (単体)		2019年度3Q (連結)		前年同期比		備考
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
複合商業施設 総合スーパー	5,450	16.9	6,420	17.4	970	17.8	SCリニューアル案件の受注が堅調に推移し、増収
食品スーパー コンビニエンスストア	3,937	12.2	2,685	7.3	△1,252	△31.8	食品スーパーの大型リニューアル案件の減少により、減収
各種専門店	14,522	45.0	17,163	46.5	2,641	18.2	家電量販店の大型案件やアパレルテナントの新装工事の受注により、増収
飲食店	4,256	13.2	5,076	13.8	819	19.3	新規顧客の獲得により、増収
サービス等	4,103	12.7	5,544	15.0	1,441	35.1	ホテル、教育関連施設、冠婚葬祭施設の取り組みにより、増収
合計	32,270	100.0	36,890	100.0	4,620	14.3	—

※2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度3Qは単体数値を参考として掲載しております。

受注高・受注残高推移

👉 前年同期に比べ受注高は増加しているが、受注残高は横ばいで推移

(単位：百万円)



※受注高及び受注残高については単体数値の推移を掲載しております。

貸借対照表

科 目		2018年度 (単体)		2019年度3Q (連結)		前年末比		備考
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
資 産	流 動 資 産	21,004	63.1	23,332	65.4	2,327	11.1	完成工事未収入金及び未成 工事支出金の増加
	固 定 資 産	12,298	36.9	12,338	34.6	39	0.3	のれん及びソフトウェア仮勘定の 増加、関係会社株式の減少
	資 産 合 計	33,302	100.0	35,670	100.0	2,367	7.1	—
負 債 ・ 純 資 産	流 動 負 債	3,835	11.5	5,726	16.1	1,891	49.3	工事未払金の増加
	固 定 負 債	1,923	5.8	1,985	5.6	61	3.2	退職給付に係る負債の増加
	負 債 合 計	5,759	17.3	7,712	21.6	1,952	33.9	—
	純 資 産 合 計	27,543	82.7	27,958	78.4	414	1.5	利益剰余金の増加
	負債・純資産合計	33,302	100.0	35,670	100.0	2,367	7.1	—

※2019年度1Qより連結決算を開始したため、2018年度は単体数値を参考として掲載しております。

3. 2019年度 通期見通し

👉 商業店舗の出店に慎重な動きが見られるが、引き続き収益性の確保に努める

(単位：百万円)

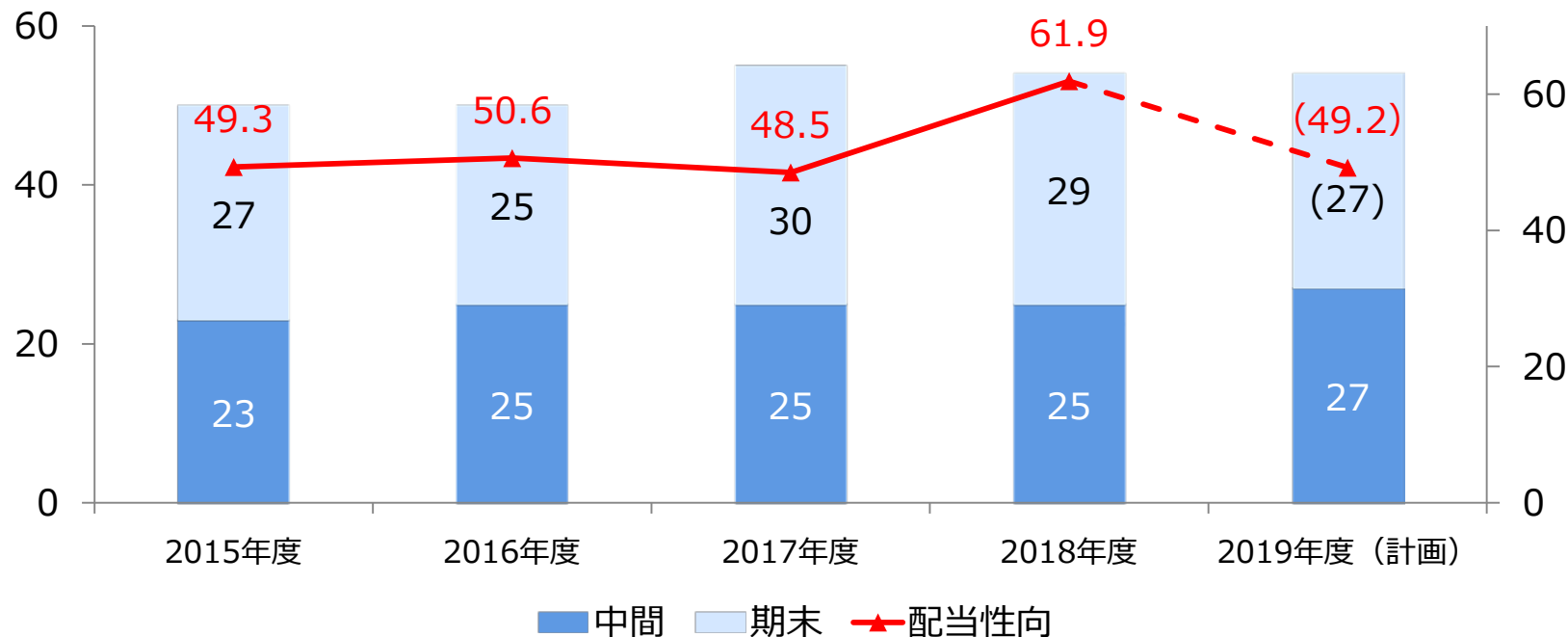
	2019年度3Q実績	2019年度通期予想	進捗率 (%)
売上高	36,890	51,000	72.3
営業利益	2,517	4,000	62.9
経常利益	2,522	4,000	63.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,719	2,650	64.9
1株当たり当期純利益 (円)	71.14	109.66	64.9
年間配当 (円)	27.00 (中間)	27.00 (期末) 54.00 (合計)	—

株主還元方針

👉 業績に連動した配当を維持し、配当性向50%を目指す

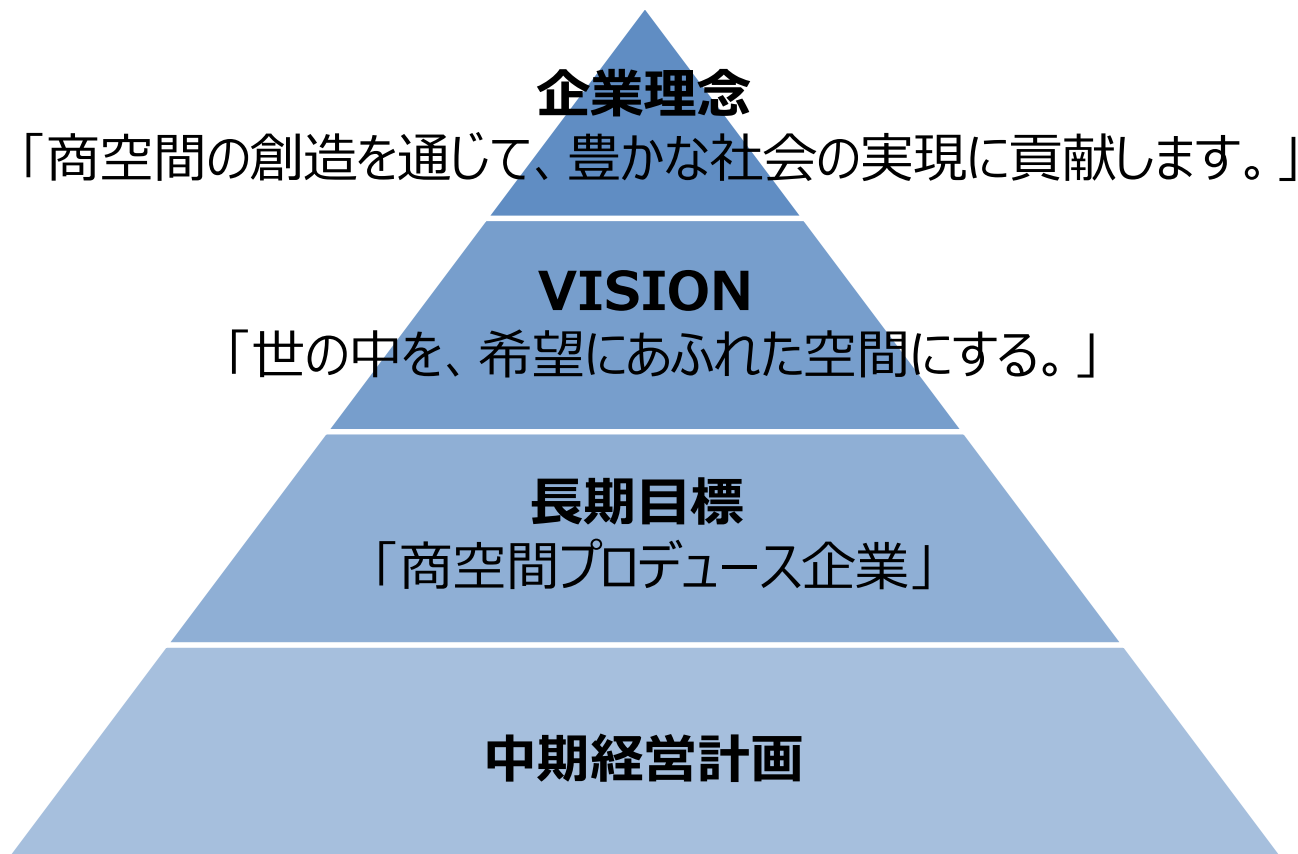
(単位：円)

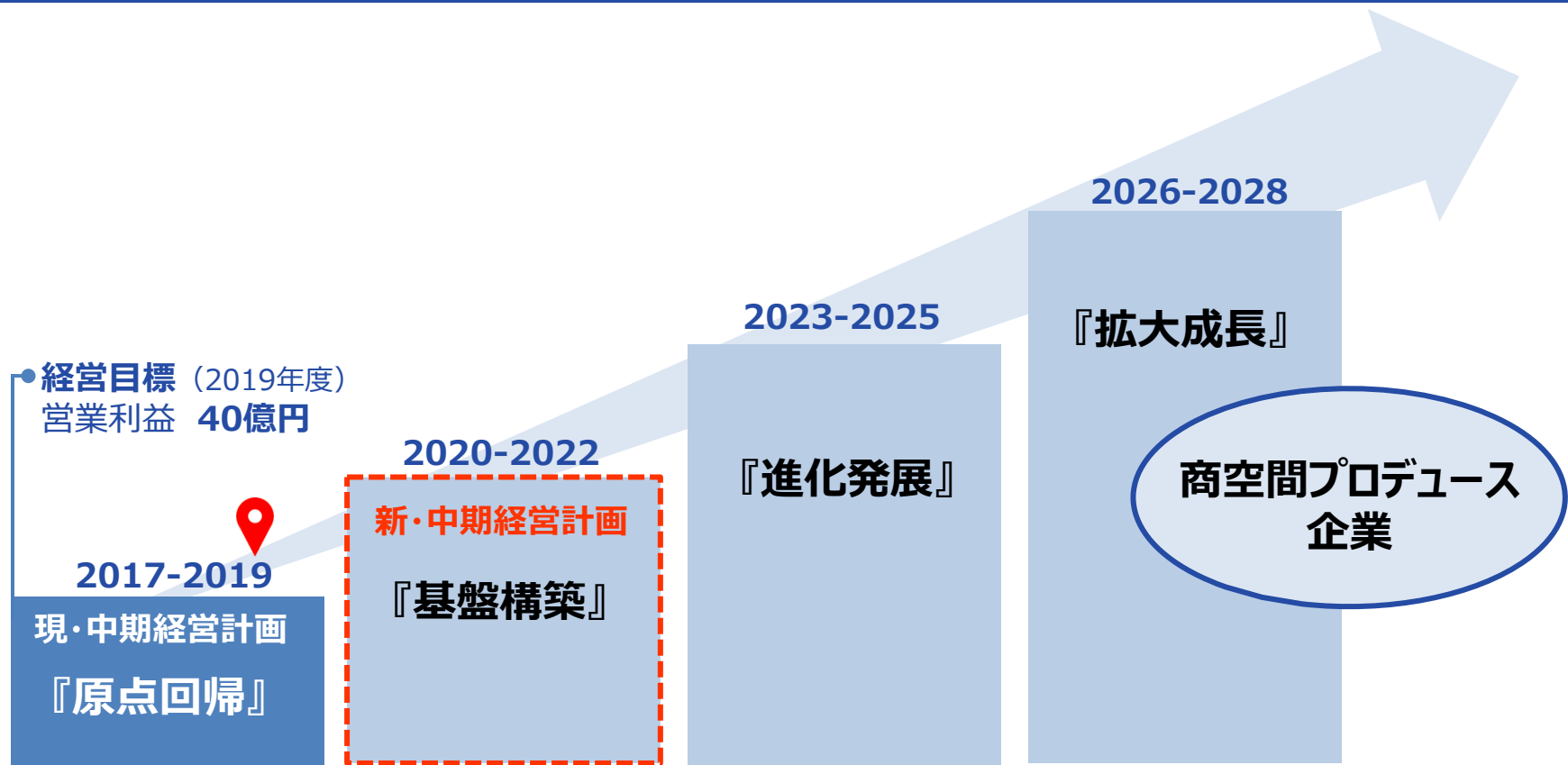
(単位：%)



※2018年度は記念配当4円を含みます。

4. 新中期経営計画（2020－2022）





“会社の成長 = 社員の幸せ”

■福岡事業部 オフィス移転



社員が生き生きと働き、
創造性を発揮できるオフィスへ

ニュースリリースとして
社外発信



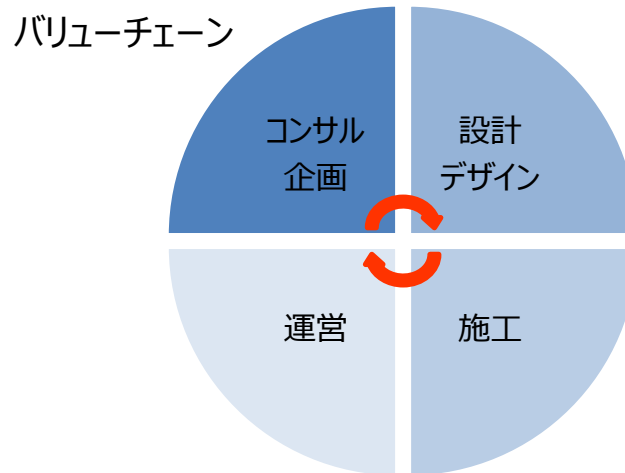
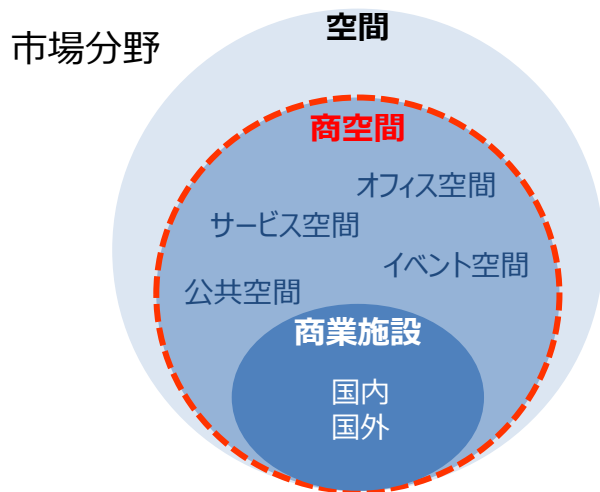
PR TIMESでの掲載・配信

テーマ『基盤構築』

抽出された課題に対応し、長期目標「商空間プロデュース企業」の実現に向けた基盤構築を行う

市場分野の拡大：商業施設以外の、オフィス・サービス・イベント・公共空間等への取り組み
海外企業の日本展開に対応できる組織・体制の整備

バリューチェーンの深耕：海外子会社、エム・エス・シーとのシナジーが十分に発揮される組織・体制の整備

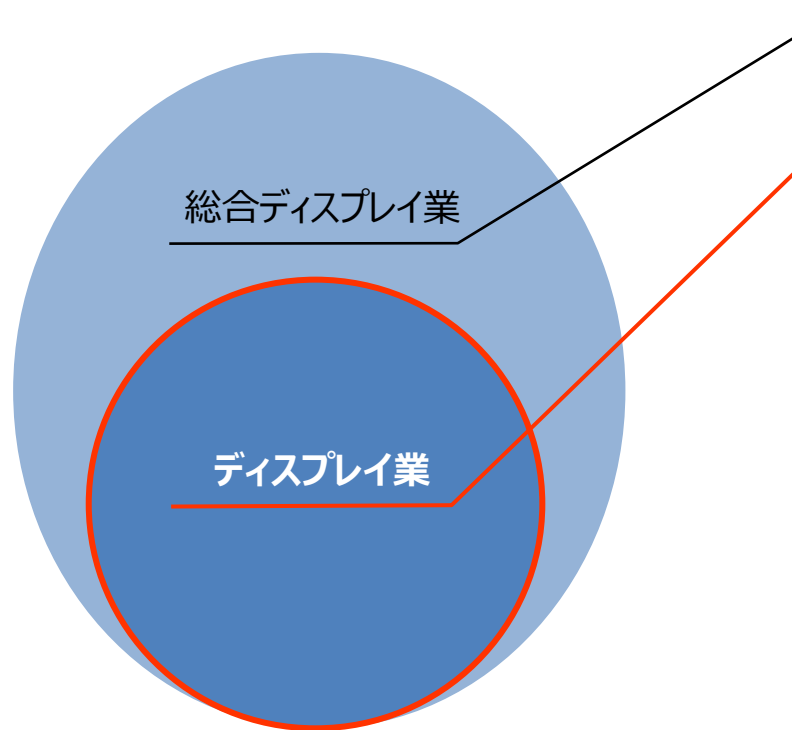


(参考資料)



スペースは1948年にガラスの卸商としてカトウガラス(株)としてスタート。
その後ガラスの陳列ケースからお店の内装など、店舗全体を手掛けるディスプレイ業へと転換

商号	株式会社スペース SPACE CO., LTD.
創立	1948年(昭和23年)7月
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:9622)
資本金	33億9553万円
従業員数	連結:934名 単体:917名(2019年9月末時点)
子会社	3社
営業拠点	国内14拠点 海外2拠点
事業内容	ディスプレイ業
決算期	12月31日



商業施設、文化施設、公共施設、博覧会、展示制作などの企画・設計・制作、施工監理を行う

主に商業施設や専門店など商空間の企画、設計、制作、施工監理を行う

複合商業施設・総合スーパー



食品スーパー・コンビニエンスストア



各種専門店



飲食店・サービス等





累計クライアント数
1,300社

発注件数
3,000件

年間受注物件数
16,000件

代表取締役社長

制作計画本部

制作本部

内装監理本部

大阪本部

名古屋本部

東京本部

商環境研究所

開発本部

海外本部

エリア管理本部

経営企画本部

人事企画本部

【参考】経営指標推移（単体）

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高 (百万円)	25,853	29,228	32,970	36,684	42,235	48,249	51,371	49,243	50,746	46,458
営業利益 (百万円)	1,549	1,852	2,001	2,468	2,714	3,265	3,545	3,367	3,672	3,330
当期純利益 (百万円)	902	846	1,115	910	1,690	1,758	2,227	2,169	2,491	2,107
1株当たり当期純利益 (円)	35.91	34.92	46.15	37.66	69.94	72.77	92.17	89.77	103.09	87.21
総資産 (百万円)	24,504	25,536	25,163	26,357	28,302	28,805	30,783	31,362	33,257	33,302
純資産 (百万円)	19,637	19,667	20,269	20,639	21,752	22,622	24,053	25,137	26,571	27,543
自己資本比率 (%)	80.14	77.02	80.55	78.30	76.86	78.54	78.14	80.15	79.90	82.71
ROE (%)	4.58	4.31	5.59	4.45	7.98	7.93	9.55	8.82	9.64	7.79
ROIC (%)	4.24	5.30	5.79	8.44	7.17	8.57	9.46	8.74	9.51	8.30
1株当たり配当額 (円)	28.00	22.00	27.00	28.00	40.00	46.00	50.00	50.00	55.00	54.00
配当性向 (%)	70.88	58.15	53.18	67.58	51.99	57.46	49.31	50.63	48.50	61.91

※2018年度に1:1.1株の株式分割を行っております。2009年度より当該株式分割が行われたと仮定して「1株あたり当期純利益」を算定しております。

明日が、笑顔になる空間を。

SPACE

IRに関するお問い合わせ

総務部 広報課

(ir_info@space-tokyo.co.jp)